卒業論文のテーマ（2025年度）

■地域創造コース

- 鑑賞教育が誘発する地域の創造性と新しい美術館の形――鳥取県立美術館を事例に――
- 粟島のアートプロジェクトのかたち――ゆるやかな繋がりが生む開かれた文化的実践――
- ガソリンスタンドは給油をするだけのインフラなのか?――鳥取県関金地区を例に――
- 鳥取県産大山小麦の使用・流通における利点と課題
- 離島における新しい狩猟コミュニティに関する研究――兵庫県姫路市家島を事例に――
- 「迷惑をかけたくない死」と自己決定――死の選択はいかにして形成されるのか――
- 歴史的建造物を活用した図書館――歴史と知の蓄積がもたらすもの――
- 合併地域における住民参画のあり方――鳥取市地域振興会議を事例に――
- 長崎市斜面市街地における高齢者の移動支援の現状と課題
- オンデマンド交通「のりりん」が変えた住民の移動
- インターネットにおける人権――プライバシーの権利と知る権利の対立――
- 流れる水から水の流れへ――ラフティングに囚われない人と自然の関係――

■教育科学コース（旧：人間形成コース）

- 人と自然の共生にむけた野生復帰における学校の役割についての研究ー島根県雲南市立西小学校のコウノトリ学習に注目してー
- 女性の鳥取大学史ー男性によって叙述されてきた大学史は何を不可視化させたのかー
- 子ども食堂における参加者の安心感や居場所間の形成に関する研究
- 対人場面における防衛的悲観主義尺度作成及びその傾向と対人欲求の関連
- 特別支援学級と通常の学級の交流及び共同学習に関する研究ー小学校教員への質問紙調査を通してー
- NP ファシリテーター養成に見る NPO 法人「子ども家庭リソースセンター」が子育て支援の実践者に果たす役割
- 絵本における絵語りに関する研究～「月」の分析を通して～
- 防災教育における自然災害伝承碑の可能性
- 小学校における外国語の授業の「振り返り」がもたらす効果と効果的な振り返り方法の提案
- 小学校の説明的文章指導における言語活動の検討～情報活用能力の育成に有効な方法について～
- 教育格差問題に関する生態学的研究:算数の学力格差を形成する変数の特定
- 理科教科書における科学と学習者との関連性に関する記述内容の分析:Stuckey らのレリバンスモデルに着目して
- 子どものサッカースクールに対する保護者の期待について
- 音楽活動におけるパペットの活用実態について―鳥取市内の幼児教育を事例として―

■国際地域文化コース

- 『今昔物語集』の世界ー閻魔王の姿・言葉・心ー
- 因幡地域の古墳時代における須恵器蓋杯の生産と流通
- 台湾における日本統治期建築物の保存と活用ー文化資産保存法からみる実態調査ー
- 字義どおりに翻訳できない表現ー『不思議の国のアリス』と『鏡の国のアリス』を事例にー
- メタフィクションゲームの独自表現ー『Inscryption』を事例としてー
- 鳥取藩の奥組織と女性たち
- 伝統的な町並みを活かした観光まちづくりに関する研究ー鳥取県倉吉市と岡山県矢掛町を事例にー
- マレーシアにおけるイスラーム建築から見る多文化共生のあり方
- 近世日本における妖怪と怪異についての一考察ー鳥取地域を中心としてー
- 江戸末期から明治初期にかけての外国語教育とその社会的背景
- 韓国における日本大衆文化受容の展開ーオタク文化から「日本感性」へー
- 鳥取県中学校方言教育について
- 宮沢賢治「よだかの星」論―よだかの自己認識に着目してー
- アメリカのヒーロー映画における移民の表象
- 「OPENNESS!」な美術館が生み出すアクセシビリティの可能性ー鳥取県立美術館とアートプロジェクトの交響が生む課題解決への取り組みー